

しまねの土地改良だより

平成23年12月1日発行

 水土里ネット島根

■ 「うしおの沢池」水源林保全・ブラックバス駆除

11月6日大雨の中、雲南市大東町山王寺「うしおの沢池」において、地元住民、大原森林組合、市、県、一般参加者約120人が参加し、沢池景観向上のための苗木の植栽とブラックバス駆除を行いました。

始めに、大原森林組合宮川参事の指導により、地元の親子連れ10数組が、カエデ、山桜の苗木60本を植えました。平成22年農林水産省のため池百選に選定された「うしおの沢池」周辺を、水辺の憩いの森とする取組みとして植栽を行いました。豊かな水をはぐくむ水辺の景色を春夏秋冬、地域住民、都市住民に楽しんで頂けるよう、今後も毎年続けていくこととしています。



その後、約一ヶ月前から池の水を抜き、78,000トンあった水がほとんどなくなった湖底で、胴長靴を履いた参加者がタモ網を使って、ブラックバス約千匹を捕獲、駆除しました。ブラックバス以外には、鯉6匹、鮎16匹がいただけで、鯉や鮎の稚魚は見られず、ブラックバスの食欲の旺盛さ、繁殖力の強さがあらためて裏付けされました。

捕獲したブラックバスを前に、宍道湖自然館ゴビウスの越川館長は、この沢池は完全にブラックバスのため池になっており、本来生息しているはずのエビやドジョウなどいろいろな生物が全て食べ尽くされている状態。農村地域の生物多様性という豊かな自然環境を維持保全していくためにも、このような取組は大変重要であると述べられました。



県内に、5,000カ所からのため池がありますが、多面的機能を持つ地域の貴重な財産をより良い形で未来へ引き継いでいけるよう、各地でこうした取組が行われるよう願っております。水土里ネット島根も要請に応じて今回の経験を基に支援していきます。

・「うしおの沢池」水源林保全・ブラックバス駆除	1
・第1回島根県浜田地区集排汚泥利活用検討委員会開催	2
・県土連親交会（OB会）開催	2
・発注者支援事業に関する意見交換会	3
・平成23年度 中国四国土地改良事業団体連合会 事務部会開催	3
・島根県土連第54回通常総会開催（予定）について	4
・今後の主な予定	4

■ 第1回島根県浜田地区集排汚泥利活用検討委員会開催

11月16日、浜田市役所において「第1回島根県浜田地区集排汚泥利活用検討委員会」が開催されました。

この検討委員会は、本会が今年度から平成25年度にかけて浜田市で実施する「集排汚泥利活用実証事業」に関する集排汚泥の利活用による効果、安全性の実証、適切な利活用手法の提案、情報発信のあり方等について検討を行うために設置するもので、委員として下記の6名の方々に就任いただいています。

当日は、議事に先立ち委員長の選出が行われ、委員の互選により本会の田中修専務理事が委員長に選出されました。その後田中委員長の進行により、集排汚泥利活用実証事業の実施方針、とりまとめ方針、実証調査内容等に討議が行われ、三隅地区資源循環施設で製造される堆肥を利用した実証は、三隅町地内の大豆で行い、雲城地区污水处理施設で製造される乾燥汚泥を利用した実証は、金城町地内のお茶で行うことが決定されました。



また、検討委員会前日の午後からは、実証ほ場の候補地や、各施設の汚泥肥料の製造状況などの現地視察を行い、浜田市から汚泥処理の状況や利活用の現状、今後の利用計画等の説明をうけました。

島根県内では、約100地区で農業集落排水事業が実施され、汚泥の肥料化による農地還元等に取り組まれています。本会としても低炭素社会に向けて汚泥の農地還元等がより一層推進されるよう努めていきたいと考えています。

(検討委員会委員)

氏名	所属・役職名
松本 真悟	島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター 准教授
桃木 信博	島根県西部農林振興センター 浜田農業普及部長
富田 晋司	浜田市 産業経済部長
加藤 喜六	有限会社 三隅町農業支援センターみらい 代表取締役
佐々木 玲慈	株式会社 扇原茶園 代表取締役会長
田中 修	島根県土地改良事業団体連合会 専務理事

■ 県土連親交会（OB会）開催

11月11日（金）、サンラポーむらくもにて、OB13名、職員16名の参加により、県土連親交会第21回総会を開催しました。

この親交会は、県土連に勤務した経歴のある方（OB）で組織し、年一回会員相互の親睦と情報交換の場として毎年開催しています。

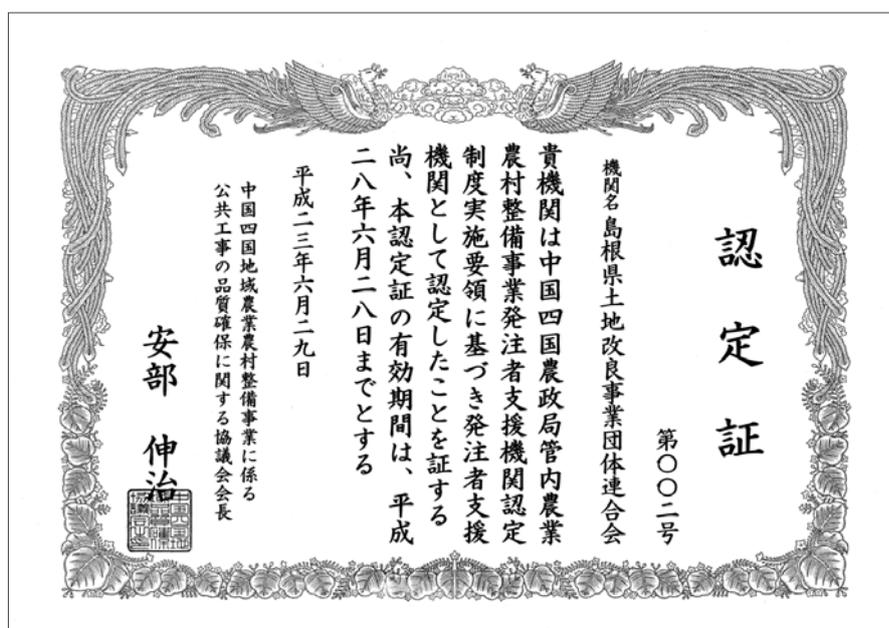


■ 発注者支援事業に関する意見交換会

本会は、市町村等が行う団体営土地改良事業発注者への技術支援を行う「発注者支援機関」として、品質確保支援機関制度に基づき中国四国地域品質確保協議会から認定を受けていますが、去る11月9日に、この制度の活用に向けた今後の取り組み方や、支援状況等について話し合うため、本会において意見交換会が開催されました。

この意見交換会は昨年引き続き開催されたもので、当日は中国四国農政局から谷得行整備部設計課技術審査官、有森正浩土地改良技術事務所長外2名、本会からは渡部明孝事務局長外4名が出席し開催されました。

当日は、中国四国農政局から管内の支援機関の活用状況報告の外、本会からは、近年の土地改良事業の減少や市町村の財政事情により支援要請が少ないことなどの状況説明を行うとともに、発注者に、本制度を理解してもらうための具体的な支援事例の収集・紹介等について要望を行いました。



■ 平成23年度 中国四国土地改良事業団体連合会 事務部会開催

11月10日（木）、水士里ネット山口 県土連ビル（山口市内）にて平成23年度中国四国土地改良事業団体連合会事務部会が開催されました。

この部会は、今後の適切な業務運営を図るべく中四国管内の事務担当者の情報交換・協議の場として毎年開催されています。

協議事項として①組織・運営全般②人事・給与③経理全般④補助業務・受託事業⑤企画広報業務等があげられ、これにもとづき活発に討議しました。

特に、各土連ともきびしい経営状況のなかで、存続のための人材確保、職員数の減少に伴う組織体制づくりまた今後の事業収入拡大にむけた取り組みについて情報交換しました。

また、職員の健康増進の取り組みでは、近年メンタル面で長期療養する職員も増えている状況にあることから、会としてのこまめな対応（研修、受診指導）が必要との共通認識をもちました。

■ 島根県土連第54回通常総会開催（予定）について

島根県土連第54回通常総会及び平成23年度土地改良功労者表彰式を下記の日程で開催する予定としております。

正式な開催通知につきましては、来年1月に開催します本会役員会において決定後通知いたします。また、土地改良功労者表彰候補者の推薦依頼につきましては別途通知いたします。

当日は、通常総会に併せ、島根県農地・水・環境保全協議会理事会及び総会、島根県農業農村整備推進協議会総会も開催を予定しております。

会員の皆様全員のご参加をお願いいたします。

- 1 開催日 平成24年2月13日（月）
- 2 開催場所 松江市黒田町432-1「島根県土地改良会館」
- 3 開催時間
 - (1) 11:30 ~ 12:20 島根県農地・水・環境保全協議会理事会
 - (2) 13:00 ~ 13:50 島根県農地・水・環境保全協議会総会
 - (3) 14:00 ~ 14:45 平成23年度土地改良功労者表彰式
 - (4) 14:50 ~ 15:25 島根県土連第54回通常総会
 - (5) 15:30 ~ 16:00 島根県農業農村整備推進協議会総会（県内19市町村）

■ 今後の主な予定

- 1 2月5～9日 会計実地検査（農林水産省農村振興局関係）
本会の検査は、7日（水）～8日（木）実施されます。
- 1 2月8日 21世紀創造運動大賞中央選考委員会（水土里ネット安来）
- 1 2月28日 仕事納め



みどり
「水」「土」「里」
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水
「土」・・・土地や農地
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール smndoren@shimanedoren.or.jp